

JOTAROが未来を創る…いま、キモノがますます面白い。

JOTARO SAITO

2013-14 Kimono Collection

【テーマ】

DRESS PEOPLE [ドレスピープル]



JOTAROのキモノは民族衣裳ではなく“ドレス”そのもの。
JOTAROが創りだす、そのドレスを愛する人を
「ドレス・ピープル」と飛ぶ。
それは不易な流行となる。



Date: 6月27日(木) 28日(金) 29日(土) 30日(日)

映像キモノショー & 齊藤上太郎トークショー

＜各日とも＞ 1st Stage 10:30 / 2nd Stage 13:30 /

3rd Stage 16:30

※30日(日)のみ 1st Stageと2nd Stageの2回となります。

いま、世界が注目する若手キモノデザイナー 齊藤上太郎氏が松屋に来店します。
氏はこれからの染織界を担う若手のリーダーとして大きな期待を集めている気鋭のアーティストです。
またキモノの世界だけにとどまらず、インテリア・ファブリック・海外ブランドとのコラボレーション等、精力的に活躍の場を広げ、
「進化する伝統の世界」に挑戦を続けています。
2002年より世界的なクリエイションステージでもある「東京コレクション」を新作発表の場として位置づけ、一方では都内で毎年キモノショーを展開。「時代に生きるキモノ創り」に正面から取り組んでいます。
今回は今年3月に渋谷ヒカリエで開催されたキモノショーを映像で再現し、合わせて齊藤上太郎氏のトークショーをお楽しみいただくスペシャルイベントです。皆様にはきっと「キモノの持つ新しい魅力」を存分にご体感いただけることでしょう。
同世代の私にとっても共感することが多く、今からワクワクしています。 店主 宝子山 賢祐

■ 齊藤上太郎 PROFILE ■

京都出身。祖父に染色作家の故齊藤才三郎、父に現代キモノ作家・齊藤三才を持ち、近代染色作家の礎を築いてきた家系に生まれる。27歳でキモノデザイナーとしてデビュー以来、現代空間にマッチするファッションとしてのキモノを追求し、TVや雑誌などメディアにも頻繁に紹介される。現在は「和を楽しむライフスタイル」を提唱し、プロダクトやインテリアの制作まで多方面に才能を発揮している。東京ファッションデザイナー協議会正会員。

- 1990年 レディース・プレタブランド「オーティアス」を立ち上げる。
- 1996年 「オーティアス」として東京コレクションに参加。キモノ作家としてデビューする。
- 1997年 第一回「JOTARO SAITO/個展」を開催。以後毎年個展&ショーを開催。
- 2002年 東京コレクション「伝統という新しさ」を発表。以後毎年東京コレクションにて新作発表。
- 2008年 10月、auのケータイ・オリジナルケース、BONNIE PINKとのコラボによるオリジナルストラップを発表。
10月、ウェッジウッドとのコラボによる陶磁器「ジャパネスクII」を発表。
- 2009年 1月、パリ「メゾン・エ・オブジェ」でJOTAROブランドのテキスタイルを発表。
11月、六本木ヒルズ「やき通りに初のコンセプトショップをオープン」。
- 2010年 4月、GACKT氏主演の「眠狂四郎無頼控」で舞台衣装担当。
9月、上太郎を含む、三人のデザイナーのプロデュースによる八方園・白鳳館がリニューアルオープン。
- 2011年 4月、「ミラノ・サローネ」にて家具メーカーカリモクとのコラボによるファニチャーをプロダクト。



utsukusikimono matsuya

うつくしきもの

